

## 令和5年度 国語科「古典探究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組
教科書	古典探究 古文編（筑摩書房） 古典探究 漢文編（筑摩書房）	副教材等	「つながる・まとまる古文単語」（いいずな書店）、「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）、「精選漢文」「精選漢文ノート」（尚文出版）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）、「日本文学史必携」（第一学習社）

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	・ 古典特有の表現に注意して内容的に的確に捉えること。	登場人物の心情を理解する	古文 『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌にあふこと」	・ 描かれた登場人物それぞれのことばを具体的におさえながら、心情の変化や批判的思考を読み取る。	行動の確認
	5	・ 歌物語という文章の種類とその特徴について理解すること。	歌物語の表現の特徴を理解する	古文 『伊勢物語』 「月やあらぬ」 「渚の院」	・ 「伊勢物語」を通して歌物語の構造と表現を理解する。	行動の観察 ワークシート分析
	6	・ 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	新たな表現を支える典故の力を理解する	漢文 『莊子』 「曳尾於塗中」 『戦国策』 「先從隗始」 『呂氏春秋』 「知音」 第1回考査	・ 登場人物のことばや行動を正確に読み取り、故事成語を理解する。 ・ 中国古代のものの見方、感じ方や考え方を理解する。	記述の確認
		・ 歌物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。	歌物語の表現の特徴を理解して物語を解釈する	古文 『大和物語』 「嫉捨」	・ 歌が詠みだされるまでの物語の構成や展開に注意しながら、話の面白さを味わう。	行動の観察
		・ 他の作品などとの関係を踏まえながら読み、作品の価値について考察すること。	作品に表現された心情を読み取る	古文 『更級日記』 「源氏物語の五十余巻」	・ 作者は過去を回想してこの作品を記しているが、回想しているときの作者の心情を読み取る。	行動の確認
	7	・ 書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈すること。	言語表現に託された生き方の表明を読み取る	漢文 『陶淵明集』 「桃花源記」	・ 実際の年号、地名、人名が用いられているが、それらがどのような効果を上げているか、話し合う。	行動の観察 ワークシート分析
	8	・ 我が国の文化の特質について理解を深めること。	現代に生きる古典芸能の姿と普遍性を理解する	古文 『風姿花伝』	・ 人生を捉える普遍性を、芸能論から導いた作者の深い思索を理解する。	行動の観察
	9			第2回考査		
		・ 成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深めること。	時代背景とともに作者の論理・思考を読み取る	古文 『方丈記』 「養和の飢饉」	・ 文章のリズム、ことばが作り出す臨場感をもとに、災害がどのように記録され記憶されるのかを考える。	行動の確認

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 ・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。	言動の記録をたどり、人物像を捉える	漢文 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	・登場人物の性格や心情・人間関係などを整理しながら話の展開をおさえ、歴史記述の特徴を把握する。	行動の観察 ワークシート分析
	11	・文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 ・長編物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。	歴史的な事実と比較しながら、物語を解釈する	古文 『大鏡』 「南の院の競射」	・文章の構成や展開に注目する。 ・登場人物の思惑を読み取りながらエピソードの面白さを味わう。 ・長編物語がどう始まり、展開するかを理解する。	行動の確認
	12	・我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。	多様な人間関係と物語の展開を読み取る	古文 『源氏物語』(一) 「光源氏の誕生」 (桐壺巻) 第3回考査		行動の観察 記述の確認
	1	・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈すること。	作品を正確に読み取り、その構成を分析し、表現効果を理解する	漢文 『西京雜記』 「王昭君」	・一つの物語が、どのように受け継がれ、新たな作品が創られるきっかけとなるのかについて考える。 〈言語活動〉 同じテーマの作品を比較し、それぞれの特徴を理解しよう	行動の確認 記述の確認
	2	・「説」という文章の種類とその特徴について理解を深めること。	多様な人間関係と物語の展開を読み取る	古文 『源氏物語』(一) 「若紫の君」(若紫巻)	・登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉える。	行動の観察
	3		典故や比喩に託された主張を読み取る	漢文 『古文新宝』 「愛蓮説」 第4回考査	・それぞれの花に仮託された生き方の典型を理解する。	行動の確認 ワークシート分析

### 3 評価の観点

知識・技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けている。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。 (2)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けている。 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
思考・判断・表現	【読むこと】読むことに関する次の事項を身に付けている。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。キ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えや価値を深めたり広げたりすること。
主体的に学習に取り組む態度	(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生理にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

### 4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

1年次に学んだ古文・漢文の知識を元に、より深く作品の読解が進められるように学習に臨んで下さい。予習としては、必ず本文を音読し、わからない語句や文法事項を確認しておきましょう。長く存在感を放ち続ける名作「古典」を読んで人間の普遍的なものを感じ取り、深い教養の一端を身に付けて下さい。